

＝ 大海小「平成」最後の夏を校長が総括 ＝

今年はとにかく暑い夏でした。「暑い」を通り越して「熱い」日が時々ではなく毎日続きました。そんな中、あつさに負けず子どもたちが元気に過ごしてくれたことが何よりうれしかったです。交通事故や大きな病気の話を書くことなく過ごせたことは何よりです。

それでは、「平成」最後の夏の出来事を発表！

①地元夏栗の竹多大海川漁協長に大海川の神髓を教えてくださいました。夏栗橋のたもとしか知らなかった私を誘って、上流の元女箕打地区の川で鮎取りを教えてくださいました。石の間を水が流れるせせらぎ、橋の上から飛び込んでもだいじょうぶな深み、大海川はいろいろな顔を持っていることを知りました。ますます大海川が好きになりました。すすめられて水中めがねとシュノーケルまで買いました（笑）秋には、サクラマスの卵をいただいて5年生が孵化させ、来春この川に放流できるかと思うとわくわくします。何度も丁寧に案内していただきありがとうございました。



【発表の後市長さん達と記念撮影する4年生】

②リバーフェスタで4年生が総合的な学習の時間に学んだことを発表しました。8月4日のかほく四季まつりの大海川会場で開会セレモニーの中に時間をいただき、市長さんのあいさつに続き呼びかけを行いました。「守れ、僕らの大海川」川をきれいにしていこうとたくさんの来場者を前に立派に発表ができました。発表、呼びかけにとどまらず、実際に分別用のゴミばこを作製し会場に設置して実践的な活動を行うことができました。大海小が行っている持続発展可能のための教育（ESD）の一環です。

③残念だった稲刈り体験。8月末5年生が登校日に合わせて予定していた稲刈りが、台風の影響で中止になってしまいました。お世話して下さっている中沼生産組合も稲刈りを急がねばならず、やむなくコンバインでの刈り取りをお願いしました。今年だけ学校田の場所が変わったことも延期できない理由でした。米づくりを始めとする農作業は、自然天候の影響を受けることを知ったことは学習の成果としてとらえることができます。加えて子どもたちには社会科で学習した新しい大きな田（100m×100m）の稲刈りを見学するように指導しました。



【学校隣の広く集約された田での稲刈り】

④いつか実施したい「学校林で朝食を」。コミュニティスクールの事業として学校運営協議会が計画した早朝遠足が、これまた台風の影響で中止を余儀なくされました。近年、地域を元気にするために役立っている「学校林」。年に一回だけの整備作業だけでなく、もっと身近に学校林を知ってもらおうと企画したものです。また計画するので、たくさんの地域のみなさんと出かけたいためです。行けなかった分、6年の池田さんと出村さんが子ども議員としてかほく市子ども議会で、「学校林をもっと身近にしたい」と看板の設置や観光パンフレットへの記載を市長に提案しました。実現するといいですね。

「猛暑、酷暑、命にかかわる暑さ」が続いた平成最後の夏でした。そんな中、大海っ子が元気に健やかに無事過ごせたことを喜びたいと思います。これもひとえに保護者地域の皆さんのおかげです。こうして「ふるさと大海」のひと・もの・ことの中で成長していく大海っ子を今後も見守っていきましょう。どうぞ2学期もよろしくお祈りします。